

2024 年度 研修委員会 活動報告

■委員名	委員長：小林澄子 委 員：久田玲子、ジョーンズ・かおり オブザーバー：並河直子
■開催回数	6 回（Web、対面） （10 月 16 日、12 月 4 日、1 月 8 日、2 月 17 日、3 月 1 日、3 月 17 日）
■活動目標	1. 兵庫県独自の「レベル別訪問看護師の学びの機会」の周知活動を行う。 1) 「レベル別訪問看護師の学びの機会」冊子を新規入会した事業所へ配布する。 2) 日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会、近畿の訪問看護連絡協議会へ「レベル別訪問看護師の学びの機会」冊子を配布する。 冊子 300 部増版 3) 「レベル別訪問看護師学びの機会」の活用した事業所に、活用までの経過や活用した結果等を研修会で発表してもらう。 研修会 回数：2 回（9 月、11 月） 場所：兵庫県看護協会（対面）
■活動内容	1. 兵庫県独自の「レベル別訪問看護師の学びの機会」の周知活動を行う。 1) 冊子 300 部増版 2) 今年度新規入会した事業所には「レベル別訪問看護師の学びの機会」の冊子を配布した。 3) 近畿の訪問看護連絡協議会へ「レベル別訪問看護師の学びの機会」冊子を配布した。 4) 「レベル別訪問看護師学びの機会」の活用した事業所に、活用までの経過や活用した結果等を研修会で発表してもらった。 ①研修会：2025 年 3 月 1 日（土）に実施 ②「レベル別訪問看護師の学びの機会」の冊子の活用を周知してもらうため、冊子の使い方を説明 ③「レベル別訪問看護師学びの機会」の活用した事業所に、活用までの経過や活用した実践報告を 2 事業所が発表、その後グループワークにて、自ステーションでどのような活用方法ができるか話し合った。 ④参加者 14 名。アンケート回答者 12 名。所属ブロックは阪神南、神戸のみであった。 アンケートの自由記載には、「積極的にシートを用いて教育に落とし込んでいところで、それを継続的にできることを学んだ。」「冊子を使用することでスタッフを平等に評価できる。」「ステーションの強みと弱みが見えることが分かった。」「ステーションメンバーの経験に合わせて年間計画に取り込み、教育者と教育を受ける人同士が行うことで能力を客観的にみられるようにする。」など、研修に満足され、特に冊子の具体的な活用方法や実践報告に有益性を感じている記載が多かった。
■活動の評価	前年度までの委員が 1 名残り他の委員は継続されなかったため、活動できたのは秋以降となり、研修は 1 回の実施となった。 少人数での研修であったが、対面で行ったことやグループワークの時間を多く取ったことで、活発な意見交換ができ、高評価を得ることができたのは良かった。
■今後の課題	・この冊子は使うことによりどんどんブラッシュアップされるものであるため、より多くの事業所が活用され、改善点を指摘してもらうことでより使いやすい冊子にしていく必要がある。また、今後は他の研修とのコラボも検討していく必要がある。